

自己評価等結果報告書

令和 4 年 3 月 25 日

宮崎市長殿

届出者所在地 宮崎市神宮東2丁目6-1

事業者名 株式会社 アライヴ

代表者名 千葉 利広

印

1. 事業所の状況

事業所の名称	ふあいん宮崎		
事業所の所在地	宮崎市宮崎駅東2丁目4-14 ヴィラージュM3 1-S		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4550100475		
連絡先	TEL	0985-48-8574	E-mail fine488574@gem.bbiq.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 4 年 3 月 1 日	～	令和 4 年 3 月 18 日
② 職員による評価	令和 4 年 3 月 1 日	～	令和 4 年 3 月 18 日
③ 事業所全体による評価	令和 4 年 3 月 19 日	～	令和 4 年 3 月 24 日

3. 公表方法

公表日	令和 4 年 3 月 28 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: https://fine-miyazaki.com) <input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示のうえ、保護者へ配布 <input type="checkbox"/> その他 ()
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	長友 大輔
連絡先	0985-48-8574

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3月 28日

事業所名 ふあいん宮崎

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	2	活動ごとで部屋を分けている。	職員の部屋は貴重品がある為、職員の職場環境づくりの観点から児童の利用・入室は控えたほうが良いと思う。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	0	送迎者を配置して職員が手薄にならないようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	5		構造上難しい所もあるが段差もあるので配慮したい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	5	0	朝礼時など発言しやすい環境作りを行っている。	Plan、DoまではできているがCheck、Actionまでつながっていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	保護者からの意向を受け出来る事は業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	0	ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	6		外部評価はされていない。今後の検討が必要だと思う。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	0	必要な研修への参加を促している。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0	児発管を中心にニーズに合わせた計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5	0		アセスメントツールの提示、確認、周知を行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	0	最終的に職員全員で確認している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	0	季節に合わせて組み込んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3	0		その日の担当が役割を決め全体に伝達しているが、伝達不足なときもあるので、しっかり伝えることが必要
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0		様々な活動を計画し経験を重ねられるようにはしているがマンネリ化しないように、更なる工夫が必要
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0		その日の担当が役割を決め全体に伝達しているが伝達不足なときもあるのでしっかり伝えることが必要
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	0		翌朝の朝礼で振り返りや気付きを報告し問題点の改善を話し合っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0		翌朝の朝礼で振り返りや気付きを報告し問題点の改善を話し合っている
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	定期的にモニタリングしている。職員間で共有している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	4	0		これからも色々な内容を組み込んで行きたい。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	0	担当者会議には児発管が参加し情報を共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	0	担当者を主に送迎時等に情報の交換、共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	7		現在はケアが必要な子どもは在籍していないが今後は整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	5	1		相談支援員を通して情報の提供や共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	2	5		卒業生がまだいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	2		参加した職員は振り返りを行い周知している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	3		今後検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3	4		今後検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0		連絡ノートや送迎時に連携を図っており職員とも共通理解を行っている。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	1		連絡帳や送迎時に行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	丁寧に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	その都度、助言を行っている。必要であれば職員で話し合いを行い助言している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	5		今後検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4	0		会報行っていないので今後検討したい。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	1	コミュニケーションを多く取るようにしている。	電話やメール、ノート等利用している。今後ITを取り入れたツールの見直しを検討してもよいと思う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	5		今後の検討が必要だと思う。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	1	文章を作成し保護者に配布 職員は見える化して目につく場所に掲示している	保護者への周知を強化していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	0	定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	1	研修に参加している	非常勤職員の参加が難しいので、今後社内研修を行って行く
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	4	3		対象者がいない為、今後の検討が必要。同意を得て計画書に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	3		保護者からの指示のみの為、今後必要があれば対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	1	報告書の作成はしている。	